

注目のアプライアンスが続々入荷!

アメリカン逸品堂



渡辺史敏

Photo: Kyoko Watanabe

アメリカでは、いまネットワークを活用したおもしろ製品がどんどん誕生している。そのなかには感動的な驚きの名品もあれば、「なんだこりゃ?」な迷品もある。ここアメリカン逸品堂では、毎月入荷する品々の中から店主厳選の逸品をご紹介します!

テレビをみながら ユー・ガット・メール!

「AOL Anywhere」とは、AOLが積極的に推進する「AOLをどこでも使えるようにする」戦略のこと。たとえばPDA端末でAOLに接続するサービスや、電話から音声操作でAOL

が使える「AOL by Phone」なんかもその一環だ。そして「居間で使うAOL」としてこの秋に登場したのがこのAOLTVなのだ。単にテレビでウェブを見るだけでなく、テレビを見ることが自体をより楽しくするものだそうだ。

AOLTV用の端末は現在フィリップスのWVH111のみ。VTRくらいの大きさの本体に

つないだ赤外線発信機を使ってCATVや衛星放送、VTRまですべて一元管理できるのがうれしいが、そのセッティングは少し面倒だ。ウェブにアクセスするとおなじみの「ユー・ガット・メール!」というアナウンスとともにメニューが出る。メニューの項目は通常のテレビ画面の上に半透明で表示される。接続は56Kモデムだが、特に速度的な不満はない。

AOLTVはテレビを使うだけにEPG(電子番組ガイド)の「Guide」や、放送局と提携して番組の関連情報をインタラクティブに見られる「AOLTV Channels」のような独自のサービスも用意されている。AOLTV Channelsは一見、BSデジタルのデータ放送のようなのだが、インターネットに直結している点が大きな違い。もちろん、AOLの顔ともいえるインスタントメッセージもOKだ。メッセージウィンドウはやはり半透明でテレビ画面の4分の1ほどの大きさで表示される。ドラマを見ながらあだこうだと言いつつにはうってつけた。

機械も画面もどことなくwebTVばいが、実際狙っている市場はまったく同じだ。それを強く感じたのがテレビの「新しい楽しみ方」という点と、「過渡期的な製品だ」という印象だ。今後CATVのコントロールボックスやHDD録画機能など一体になった総合セットトップボックス化されたときにこそ、両者の本領発揮となりそうな気がする。すでにAOLTVもwebTVもその方向

で動いているようだ。現在は一般消費者よりもTV、ネット業界で話題の存在といった感じのAOLTVだが、そういう意味で考えると本体価格約250ドル、さらに月25ドルの会費はかなりの先物買いかも?

「どこでもAOL」を実現するお茶の間ネット端末

AOLTV (フィリップス WVH111)



DATA

メーカー: フィリップス
型番: WVH111
価格: 249ドル95セント
会費: 月額24ドル95セント
(AOL会員は月額14ドル95セント)
www.aoltv.com



AOLTV Channels利用中にメニューを表示させたところ。本来のテレビ画面は右上に縮小されている



インスタントメッセージの画面。テレビ放送が全画面表示され、半透明で重なる。テレビ井戸端会議に最適か?

バーコードでウェブに一発アクセス!

:CueCat

デジタルデバイドをなくす福音となるか

いまアメリカではバーコードが熱い! というのも広告をオンラインショッピングなどに結びつける方法としてバーコードが注目されてきたからだ。消費者がいちいちURLを入力しなくても目的のウェブページに簡単にアクセスできるように複数の企業が普及を目指している。日本でも大前研一氏が社長を務めるエブリデイ・ドット・コムやメディアポータルジャパンなんかがこの分野に進出している。

そんななか、アメリカで先頭を走っているのがDigital:Convergence社のバーコードリーダー「:CueCat」。同社は全米有数の家電販売店チェーン「RadioShack」と提携して無料で:CueCatを配っている。また、それと連動してRadioShackの折込広告やカタログに独自コード「:Cue」の掲載をはじめた。

:CueCatはキーボードとPCの間にPS/2型コネクターを使って接続する。バーコードの読



DATA

メーカー: Digital:Convergence

価格: 無料

www.crq.com

み取りは「:CRQ」という専用ソフトを使うんだが、:CueだけでなくUPCと呼ばれる一般の商品コードや書籍、雑誌に使われるISBNにも対応している。

実際にRadioShackのカタログ上の:Cueをスキャンしてみると「ポン!」という音とともにブラウザが開き、その商品の通販ページにアクセスした。また、音楽CDの裏に付

いているUPCをスキャンするとそのレーベルのウェブページが開いた。ただし、UPCはあらかじめデータベースに登録されてなければアクセスできない。製品本体は無料配布のためにコストを抑えたからか、センサーの精度がイマイチで、スキャンに失敗することもあるのが難点だ。しかも、皮肉なことに小型化された専用コード:Cueよりも、一般的なUPCのほうがスキャンしやすい。

目指す商品のページにダイレクトにアクセスできるのはたしかに便利だが、広告を見るときに必ずパソコンがなければならないのがCueCatの弱点。もちろん同社もそのあたりは承知で、現在ペンメーカーのCrossと共同で300件のコードを記憶しておける携帯型のスキャナー兼用ペンを開発中だという。さらに同社ではテレビCMにも:Cueを挿入する計画だ。改良の余地はまだまだあるけど、結構これからおもしろい分野になりそうだ。



専用スキャンングソフトの:CRQの画面。下のウィンドウに表示されているのがスキャンしたコードの内容。



RadioShackの総合カタログには:Cueが掲載されている。スキャンすれば即オンラインでオーダーできる。



ひと足早くハヤリモノをcheck!

今月の早目・早耳

MP3を皮切りに音楽データ配信がブームになっているのは周知のこと。そんななか、「こんなものまで!？」と思ったのが、Neurosmith社のCyber Cartridgeだ。

これ、同社が発売している2歳から5歳向けの音楽教育玩具Music Blocks用のダウンロードユニット。Music Blocksは音楽カートリッジをさして、5つのサイコロ型ユニットを決められた場所に置くと、置いたユニットの模様によってアレンジを変化させながら曲が再生される仕組みのもの。お子様に

はもったいないほどよくできたおもちゃだ。

Cyber CartridgeをUSBでPCに接続すると、さまざまな音楽データをダウンロード購入して、Music Blocksで楽しめるようになる。曲も「きらきらお星様」のような定番からジャズやヒップホップまで揃っているのだから恐れ入る。

さすがにダウンロード自体は大人がしてあげるんだけど、これからは幼児のころから「ねーねー、ダウンロードしてえ」などとダダをこねる子供が増えるかもね。

幼児向けダウンロードMP3プレイヤー

Cyber Cartridge



手前がCyber Cartridgeで奥がMusic Blocks。ともに49ドル99セント。音楽データは1曲4~5ドル程度。暗号化された独自フォーマットが使われている。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp